



花さき山

タイトル文字：滝平二郎



育児コンシェルジュ

毎週火曜日・木曜日

10:00~14:30

育児のお悩み相談が
出来ます。
お子様にオススメの本も
紹介します。

※専門スタッフが対応します。
※コロナの状況によって中止になる
場合もあります。

こども向け映画会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：4月17日（日）

10:30~11:50

内容：「おしりたんてい Vol.10」
（上映時間：約80分）

対象：お椅子に座って見られる子
先着10名

申込：4月5日（火）

~4月15日（金）

電話または窓口にて受付

「本屋大賞」特集

場所：明野図書館 特設コーナー

日時：4月1日（金）~4月30日（土）

内容：書店員の投票だけで選ばれ、4月に

大賞が発表される本屋大賞。

今年のノミネート作から歴代の

受賞作と別部門の翻訳小説部門まで

展示しますので、ぜひお楽しみに！

こども読書週間

【スタンプラリー】

場所：明野図書館

期間：4月1日（金）~5月6日（金）

内容：図書館の本を借りてスタンプを
集めよう！スタンプがたまったら
景品をプレゼント♪

対象：幼稚園生・保育園生~中学生まで



フィーチャー Feature

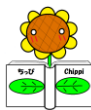
スタッフおすすめコーナー

4月のテーマは

「短編の世界」



短い時間でも物語の世界に浸るひとときを
楽しめる短編作品。同じ作家でも長編と
短編では違う魅力を感じられることでは
しょう。「ショート」にまつわる資料もいっしょに
展示します。



屋敷森の話

飯泉 俊夫

北関東の農村には、屋敷を囲む森林が点在していた。私の住まいも、その屋敷森の中に有った。木々の緑陰は、古民家の大屋根や背戸の小庭にも葉陰を投げた。

そんなある年、父は木を切りたいのだと言いだした。西浦の塀沿いに立つ樹齢三百年近いとも言われたモチの木であった。「庭を明るくしたい」と。私も無言で父に同調した。

間もなく、三、四人の木こりが隣村から馬車でやって来て、二本の木を切り倒した。突然バリバリと音がして、空から射抜かれた斜光が地面にふりそそいだ。あたりの暗がりは一変した。

それから父の勇み足は続き、杉の木、柿、カヤ、こぶし、栗、欒、モチが次々と切られ、森は陽光に眩み、夏日はチカチカと痛い。季節風は寒風となって石塀を越え、洗濯物を飛ばしていく。あたりは濁きに似た空気感にさらされ、屋敷森が抱擁していたほの暗く温容な湿り気は、どこかに消えていた。「しまった。」なんという失態。森の変容を軽く見過ごしていた私への、自然の逆襲に相違ない。振り返れば、それは五十年前の話である。

屋敷森再生へ、その道しるべをたどりながらも淡淡と進めてみよう。単純な行動でよい。

先ず家の西方、寒風よけに泰山木を選ぶ。清楚な初夏の大輪がよい。その隣にモチの大木を移植。左にこぶしを植える。春の雑木林に早々と白い花が似合う。

南西に杏子と梅と栗。南方に太い楠、夏日の逆光をさける。

あれから、希望と期待を携えて五十年が経った。八十半ばの私の願望は、今もささやかに続いている。

江戸時代からの屋敷森、そこで育った杉やけやきは、用材として民家の木柱に使われ、二百年の農家は風雪に堪えた。

昨春、わたくしは遠方より、拙宅のある屋敷森を眺めてみた。木を植え始めて五十余年、歳月は確かに花木の風景をそのあたりに作りつつあった。

いいずみ としお／日展特別会員・東光会名誉会員